

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2010 助成の概要と推薦理由

助成番号 10-2-2

プロジェクト名 病気の子どもと共に頑張っている「きょうだい」の支援とサポート体制の強化-2
団体名 しぶたね (Sibling support たねまきプロジェクト)
代表者名 清田 悠代
所在地 大阪府
助成額 50万円
助成期間 2010年10月1日～2011年9月30日
設立年 2003年
URL <https://sibtane.com/>



長期療養のこどもの場合、その「きょうだい」も我慢しながら一緒にがんばっていることは見落とされがちである。この団体はそのようなきょうだいを支援するとともに、きょうだいの状況を広く伝えることで、きょうだいが悩みを1人で抱え込まずに過ごせる社会を目指している。主な活動は、イベント「きょうだいの日」(年2回)のシブショップ(きょうだいのためのワークショップ)を通して、きょうだいと同じ立場の仲間と出会い、体を動かして遊ぶことでストレスを発散したり、心のために思いを共有する場を提供する。また、病棟内に入れず面会中の親を待つきょうだいと遊び、楽しい時間と安心できる居場所となる「病院活動」なども行っている。

助成1年目では、これらの通常活動を行い、あわせて新たにスタッフとボランティアの集まりを定例化することで、組織力を高める取り組みを行った。定期的に集まり情報共有ができたことで、スタッフとボランティアとの信頼関係が深まり相互連携も向上した。またメンバーからの改善点の指摘や提案なども増え、イベントの質の向上につながった。さらに本助成の他団体のイベントにも「出前きょうだいの日」として協力し、また見学希望者やボランティアに対して講座を開くなど、新たな試行も行い充実した活動が行われた。

助成2年目では、さらなるチャレンジとして、1年目で試行を始めた中高生になったきょうだいを対象としたプログラムの立ち上げに取り組む。また、ワークショップに来ることのできないきょうだいが、一人で寂しい時、つらくなった時、読み返して周りの人の愛情を再確認できるような、親に気持ちを伝える手助けになるような「きょうだい向けの冊子」を制作することにより、さらに支援の幅を広げることを目指す。

本団体は、きょうだいに寄り添いながらきめ細かな心配りのある支援を着実に続けてきている。きょうだいに特化した支援活動はユニークであり、より多くのボランティアの協力を得ながら活動が今後も継続することと、「きょうだい」をとりまく課題への気づきや支援が広がることを期待して助成する。